

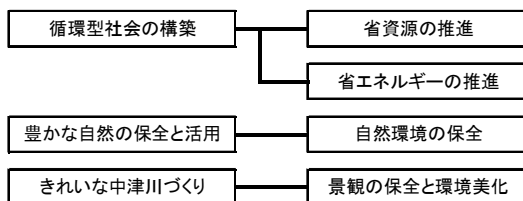
4 豊かな自然ときれいな中津川をつくります

- 人間は「自然に生かされている」存在であり、人間が生きていくための糧を様々な資源として自然から得てきたにもかかわらず、自然の保護よりも生産・消費を優先させた結果、多くの矛盾が生じています。
- こうした矛盾を解消していくため、「人間の活動と環境との調和・共存」のための「サステナブル（持続可能）」な社会の実現が求められており、省資源・省エネルギーを目指したライフスタイルへの変更や自然環境の保全など、多くの課題に取り組んでいく必要があります。
- そのために、市民一人ひとりが共通の認識を持ち、生産・流通・消費・廃棄などすべての過程で、市民、事業所、地域、市役所がそれぞれの責任と役割を担い、ごみを減らす、冷暖房は控えめにする、長時間のアイドリングはしないなど、身近なところから省資源・省エネルギーの取り組みをすすめていく必要があります。
- また、下水道の整備などによる水質保全、自然共生型の河川整備や里山保全など、自然をできるだけ元の姿に近い形に保っていく取り組みとともに、まち並み景観の保全などによりそれぞれの地域らしさを守り、うるおいのある生活空間として確保していくことが大切です。

（まとめ）

- 貴重な財産である豊かな自然環境のなかで、市民が安心して生活し、孫子の代まで良好な姿のまま引き継いでいくため、市民、事業所、地域、市役所がそれぞれの役割に応じた主体的な取り組みをすすめ、「**豊かな自然ときれいな中津川**」をつくります。

施策の体系



4-1 循環型社会の構築

省資源の推進

- ◆ ごみの減量化のため、各家庭で生ごみを堆肥化し、それを回収する仕組みをつくりません。
- ◆ 過剰包装の抑制、買物袋の持参など市民一人ひとりが参加するごみ減量化運動をすすめ、ごみの発生回避・減量・再使用・再資源化を推進します。
- ◆ 環境センターの安全・安定・安価な稼働を図り、下水道汚泥の受け入れ、スラグの有効活用に必要な施設の整備を推進します。
- ◆ 環境に配慮した生活や事業活動が自発的に行われるよう環境学習をすすめ、環境保護・公害防止意識の高揚を図ります。

省エネルギーの推進

- ◆ エネルギーの有効利用について、市民・事業所などへの啓発と情報提供に努め、地域全体での取り組みにつなげるなど、省エネルギーを推進します。
- ◆ 太陽光発電設備などの公共施設等への導入をはじめ、全市的な新エネルギー活用の推進に努めます。

4-2 豊かな自然の保全と活用

自然環境の保全

- ◆ 下水道整備のスピードをあげ、公共用水域の水質の保全を図るとともに、清潔で住み良い環境づくりに向けた全市水洗化をめざします。また、新衛生センターの整備を推進します。
- ◆ 自然共生型の河川整備等により、快適で安全な親水空間をつくり、市民が水に親しみ、ふれあうことのできる水辺環境の創出に努めます。
- ◆ 市民に憩いと安らぎを与える森林や里山の保全・整備をすすめます。

4-3 きれいな中津川づくり

景観の保全と環境美化

- ◆ 市民参加により景観基本計画を策定し、歴史的なまち並み、文化遺産や自然景観の保全を図ります。
- ◆ 市民一人ひとりの美化意識の高揚を図るとともに美化活動を促進し、市民のうまいのある生活空間の創出を図ります。